

学力向上に効果のある取組事例

国東市立 富来小学校

取組の具体①

◎「学習の見通しが持てる課題の設定」と「多様な考え(対立意見)が持てる課題設定の工夫」(児童と教職員の双方向のふりかえりを手がかりに)

1 時間のうちで課題解決に向けて学びを揃える場を何回か設定する必要がある。また意見交流を活発にしていくためには、子どもの実態を考慮してどんな中心発問(課題)だったら全員が考えを持ち参加しやすくなるのか吟味していくことが大切である。

それらの検証を児童の立場と、教職員の立場との両面からのアンケートをもとに毎月行った。

①児童アンケート

児童アンケート (高学年)

①授業の始まり、そうじの時間を守れていますか。

よくできている ・ だいたいできている ・ あまりできていない ・ できていない

・ 始められていない理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

() 準備をしていないから

() 時間におくれてもいいと思っているから

() 活動の場所に行っても何をしていいかわからないから

その他 ()

②あなたの机の中やロッカーの中は整理されていて、必要な物がすぐに取り出せますか。

すぐとりだせる ・ だいたいとりだせる ・ 少し時間がかかる ・ とり出せない

・ 「あまりできていない」「できていない」理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

() 整理するのが苦手だから

() どうやって整理するのかわからないから

() 整理しなくてもいいと思っているから

その他 ()

③授業中、「課題」について自分の考えをつくることができていますか。

よくできている ・ だいたいできている ・ あまりできていない ・ できていない

・ 「あまりできていない」「できていない」理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

() 言葉だけだと「課題」の意味がよくわからないから

() 前の時間までの学習内容がわかっていないから

() 時間が足りないから

その他 ()

④授業中、先生や友だちの話を聞くことができていますか。

よくできている ・ だいたいできている ・ あまりできていない ・ できていない

・ 「あまりできていない」「できていない」理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

() 聞いているとちゅうで手遊びしたり、自分が話したりしたくなるから

() 話が長いとわからなくなるから

() 耳だけで聞くのがむずかしいから (絵や実物があつたほうがいい)
 その他 ()

⑤授業中、自分の思っていることや考えていることを、先生や友だちに伝えようとしていま ですか

よくできている ・ だいたいできている ・ あまりできていない ・ できていない

・「あまりできていない」「できていない」理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

- () まちがっているとはずかしいから
- () どういうふうに話していかかわからないから
- () 少人数 (ペアやグループ) だと話せるけど、大人数 (クラス、全校) だと話せないから
- () 友だちの意見と自分の意見を比べて、同じところと違うところがよくわからないから
- その他 ()

⑥授業中、わからないときに、「わからない」と言えますか。

言える ・ だいたい言える ・ あまり言えない ・ 言えない

・「あまり言えない」「言えない」理由はなんですか。(いくつ〇してもよいです。)

- () 自分が何をわからないのかが説明できないから
- () わからないことがはずかしいと思うから
- () わからないままでいいと思っているから
- その他 ()

⑦授業が終わったとき、「できた」「わかった」と思うことがありましたか。

よくある ・ 時々ある ・ あまりない ・ ほとんどない

・「よくある」「時々ある」人に聞きます。それはどんなときですか。

()

②教職員アンケート(授業改善自己チェック表)

指導の状況		6月	7月
取組①	学習のめあて・課題が明確に位置づいている。	3. 6	4. 0
	児童が、解決の見通しが持てる課題設定の仕方 (教材、提示方法、自分の考えをつくれる時間の保障やヒントカード等の個別支援の工夫ができています。	3. 0	3. 0
取組②	意見交流が活発になるような深める問いや板書を工夫している。	2. 9	3. 0
	ペア学習・グループ学習など、友だちと関わり合い、深め合う学習形態が工夫されている。	3. 4	3. 6
その他	教師が説明しすぎず、子ども同士の考えをつなげる役割をしている。	2. 8	3. 1
	振り返りシートや練習問題の時間を確保し個々の1時間の学習の理解状況やつまづきなどを把握している。	3. 4	3. 6

(5 よくできた 4 できた 3 ふつう 2 あまりできなかった 1 できなかった)

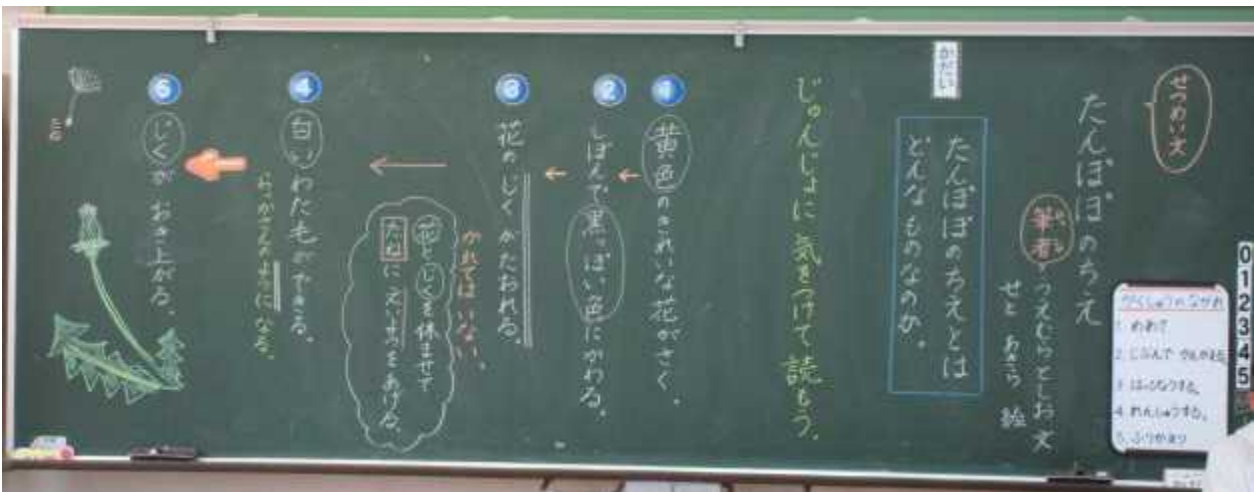
取組の具体②

◎「友だちと関わり合い、考えを深める発問の位置付いた板書」「意見交流が活発になるような板書」(構造的な板書の工夫)

■板書の工夫の交流のふり返り例

意見交流が活発になるような板書が工夫されているか。	【1年・道徳「きんのおの」】 ・中央に登場人物や場面がわかるようにした上で左右に〈うそをつく〉と〈しょうじきだ〉を対象的にしていたところがよかった。 ・挿絵とともに一人ひとりの言葉を共感できた。 【3年・国語「きつつきの商売」】 ・場面のキーワードには色をつけたり、ふきだしをつけたりした。 ・登場人物の気持ちについて話し合う中で「だまって」「うっとり」「うんと」という言葉に着目させて気持ちを想像させるようにした。 【6年・算数「分数×分数」】 ・逆数に気付かせるために約分の数字をオレンジで書いていた。 【5年・理科「メダカのたんじょう」】 ・それぞれのグループの意見はわかりやすいし、違いを比較しやすい板書になっている。	【2年・算数「図を使って考えよう(1)」】 ・イメージができていのに抽象化できないということもへの対応でスモールステップの支援が必要。 ・まずは具体的な絵を抽象的な図を結びせ、次に文章とテープ図を結びせて最後にテープ図を見て文を考えさせるなど段階を追って活動させるとだんだんイメージが一致していくと考えられる。
---------------------------	--	---

◇2年生国語「たんぼぼのちえ」



◇6年生道徳「手品師」

